

令和6年度 年間授業計画

東京都立科学技術高等学校

教科	科目	科学技術科
芸術	音楽Ⅰ	
学年	単位数	
1学年	2単位	
教科担当者		
田中 光		
使用教科書		
音楽之友社 ON!Ⅰ		

教科の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術に関する各科目「の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現する為の技術を身につける。	創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができる。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構成や文化的・歴史的背景との関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創作工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を作っている要素や諸要素同士の関連を知覚し、それらの働きを甘受してことの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、表現意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元名：楽しくみんなで歌おう 【目標】 ・歌唱や創作の諸活動を通して、歌唱技能の基本や、簡単なリズムのつくり方を学び、音楽の楽しさを味わう。 【指導内容】 ・歌うことの楽しさを感じ取らせる ・呼吸法、口形、共鳴など発声の基本を学習する ・読譜力の伸長を図る ・ポピュラー音楽の概要を学習する ・言葉を生かしたリズムやメロディーをつくる	・オリエンテーション ・校歌 ・ポピュラー曲① ・ポピュラー曲② ・ポピュラー曲③	【知識・技能】 ・しっかりと発声とし、楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付けている。 ・言葉のリズムや抑揚を生かして創作する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・楽譜を見て音程、リズム、テンポ、表情等を把握し、しっかりと発声で、より楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 ・言葉のリズムや抑揚の特徴や雰囲気を知覚し、それを表現に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌唱することに喜びを感じ、正確な読譜や適切な発声に努めることに主体的に取り組んでいる。	○	○	○	28
単元名：日本の音楽 【目標】 ・歌唱・器楽・鑑賞の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを感じ取る。 【指導内容】 ・曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌う ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取って鑑賞する ・わが国や郷土の伝統音楽の種類と特徴を理解して鑑賞する	・日本歌曲① ・日本歌曲② ・日本の伝統芸能① ・日本の伝統芸能②	【知識・技能】 ・曲想をイメージをもって表現するために必要な発声を含めた技能を身に付けている。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらのつくり出す雰囲気を歌詞の内容や文化的背景と関連付けながら、発声の特徴を生かして表現しようと工夫している。 ・また、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら表現意図をもって演奏する工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と歌詞の内容や文化的背景、及び民謡の発声の特徴に関心をもち、イメージをもって歌唱しようとしている。 ・楽器の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。	○	○	○	
楽典ソルフェージュのプリント			○			
単元名：合唱 【目標】 ・歌唱や鑑賞を通して様々な合唱音楽を体験し、その表現方法や良さを味わう。 【指導内容】 ・簡単な輪唱や様々な形態の合唱をする ・中世ルネサンスの音楽の鑑賞	・合唱曲① ・合唱曲② ・鑑賞曲	【知識・技能】 ・様々な表現形態による合唱の特徴を生かした音楽表現するための技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じ、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連付けながら表現しようと工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
実技テスト			○	○	○	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元名：器楽 【目標】 器楽の実習を通して楽器の表現に親しみ、技能の伸長を図るとともに、その特長を生かした表現の良さを味わう。 【指導内容】 ・ギター、リコーダー、ピアノ等を中心とした基礎的な奏法の実習 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・バロック時代から近・現代までの器楽曲の鑑賞	・器楽の音階 ・器楽曲① ・器楽曲② ・鑑賞曲	【知識・技能】 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、作曲家・演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、表現意図をもち、工夫をして演奏している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・楽器の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。	○	○	○	32
	単元名：世界の音楽 【目標】 劇や物語と音楽の結びつきを理解し、イメージをもって表現したり鑑賞したりする。 【指導内容】 ・楽曲の背景を意識した表現の工夫や鑑賞 ・劇や物語と音楽とのかわりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞	・世界の歌① ・世界の歌② ・世界の歌③	【知識・技能】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。 ・曲想をイメージをもって表現するための発声を含めた技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素の働きをとらえ、それを生かして創作する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・地域や民族による特徴的な音楽的要素（音階・リズム等）を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら表現意図をもって歌唱や演奏をする工夫をしている。 ・音階やリズムの働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、表現意図をもって演奏する工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心をもち、意欲的に歌唱したり演奏しようとしている。 ・諸外国の特徴ある音階に関心をもち、意欲的に創作している。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。	○	○	○	
	楽典ソルフェージュプリント			○			
	単元名： オペラ・ミュージカル・合唱 【目標】 歌唱や鑑賞を通して様々な合唱音楽を体験し、その表現方法や良さを味わう。 【指導内容】 ・簡単な輪唱や様々な形態の合唱をする ・中世ルネサンスの音楽の鑑賞	・オペラ ・ミュージカル① ・ミュージカル②	【知識・技能】 ・曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら表現意図をもって歌ったり、演奏したりする工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち、意欲的に歌唱したり、演奏したり、鑑賞しようとしている。	○	○	○	
	実技テスト			○	○	○	

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
3 学 期	単元名:アンサンブル 【目標】 声や楽器を組み合わせで演奏したり、様々な音素材を用いた創作を身につけイメージをもって表現する。 【指導内容】 ・声や楽器の音色、奏法、それらの組み合わせを生かしたアンサンブル活動 ・様々の音素材による音楽作り	・アンサンブル曲① ・アンサンブル曲② ・器楽曲（楽器と歌）	【知識・技能】 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技術を身につけている。 ・音素材の特徴、反復、変化、対照等の構成を工夫した音楽表現をするために必要な技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、表現意図をもって演奏する工夫をしている。 ・音素材の特徴を生かして、反復、変化、対照などの構成を考え表現したい音楽をイメージし表現を工夫して音楽を作ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・音楽の音色や奏法および、それらの組み合わせの面白さに関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心を持ち主体的に鑑賞しようとしている。	○	○	○	18
	単元名：独唱 【目標】 歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身につけ、イメージを持って表現したり、楽曲の価値を感じとる。 【指導内容】 ・芸術的な音楽表現のための発声や発語の工夫 ・歌詞の内容や楽曲の背景を十分に研究した音楽表現の工夫 ・芸術歌曲の鑑賞と批評	・イタリア歌曲① ・ドイツ歌曲① ・日本歌曲① ・日本歌曲② ・鑑賞曲	【知識・技能】 ・曲想を歌詞の内容や楽曲1の背景と関わらせて感じとり、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発語、読譜等の技術を身につけ、創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気などを感じながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じとり、音楽表現を工夫している。 ・音楽を作っている要素が生み出す特徴や雰囲気が歌詞の内容や楽曲の背景との関わりを感じとり、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を理解したり、それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌唱したり、鑑賞しようとしている。	○	○	○	
	実技テスト			○	○	○	
							合計